

授業科目	＊家族看護学						実務家教員担当科目	－			
単位	2	履修	必修	開講年次	2		開講時期	後期			
担当教員	石井 美紀代										
授業概要	社会の変化とともに家族のあり方も変化している。本科目では、家族の概念や家族形態と家族機能を、社会の変化とともに紹介する。また、家族看護の基盤となる家族システム理論、家族発達理論、家族危機理論について解説する。さらに、家族の健康問題を理論を使ってアセスメントする演習も取り入れ、事例をととして、家族単位のアセスメント力および看護計画力を育成する。										
授業形態	対面授業				授業方法	PBL グループワーク					
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	1. 家族の捉え方が時代によって変化していることを理解し、現代の家族の特徴について説明できる。 2. 時代による家族の機能の変化について説明できる。 3. 家族を理解するための理論について、それぞれ特徴を説明できる。 4. 家族アセスメントを通して、対象家族の全体像を形成できる。 5. 紙上家族から課題と援助目標が設定できる。										
理想的 レベル	標準的なレベルに加えて 1. 家族看護過程を理論を使って展開できる。 2. 「家族」についての看護上の諸問題を、多職種協働の視点で展開できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			70								
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物			30				家族理論の事例展開（ワークシート）				
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	－	DP4	○	DP5	－	ナンバリング	NU21301J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
予習：教科書や配布資料、紹介した文献を読んでくる										4	
復習：講義で扱ったトピックスについて、自分なりの意見を整理する											
授業計画											
第1回	テーマ：家族という存在 家族のセルフケア機能から健康をとらえ、健康な家族とは？を考える										

第2回	テーマ：家族の定義、「家族らしさ」を考える（外部講師）
第3回	テーマ：日本の家族の変動、多様化する家族（外部講師）
第4回	テーマ：家族を理解し援助するために必要な理論 家族発達理論
第5回	テーマ：家族発達理論を使って事例分析 家族発達理論事例を使って家族の危機を捉える
第6回	テーマ：家族を理解し援助するために必要な理論 家族システム理論
第7回	テーマ：家族システム理論を使って事例展開 家族システム理論を使って家族の全体像を捉える
第8回	テーマ：家族を理解し援助するために必要な理論 家族ストレス対処理論
第9回	テーマ：家族ストレス対処理論を使って事例展開 家族ストレス対処理論を使って家族の全体像を捉える
第10回	テーマ：家族看護過程 家族のアセスメント
第11回	テーマ：援助的コミュニケーション 円環パターンの原因に気づかせるための質問
第12回	テーマ：家族の看護過程 家族を対象にした看護計画
第13回	テーマ：家族の看護過程 家族を対象にした看護援助の方針と評価
第14回	テーマ：家族の看護過程（ケース検討） 養育期の家族
第15回	テーマ：家族看護の活用と展望
テキスト	鈴木和子 渡辺裕子：家族看護学 -理論と実践-，日本看護協会出版会
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	森山美知子：家族看護モデルーアセスメントと理論の手引き
課題に対するフィードバックの方法	授業中の提出物は、その後の授業で解説し返却します。 なお、授業中の提出物はすべて科目の評価に関係しますので、講義を欠席した場合は講義資料や授業中の提出物を確認して各自で対応してください。
学生へのメッセージ	家族については、社会学、看護学、心理学といった領域で探究されています。看護以外の領域にも興味をもち、現代の家族の課題を考えてみましょう。

ジ・コメ
ント

家族は、社会の変化によって機能や考え方が大きく変わっています。家族に関するニュースやドラマで、家族がどのように描かれているか関心をもって見てください。